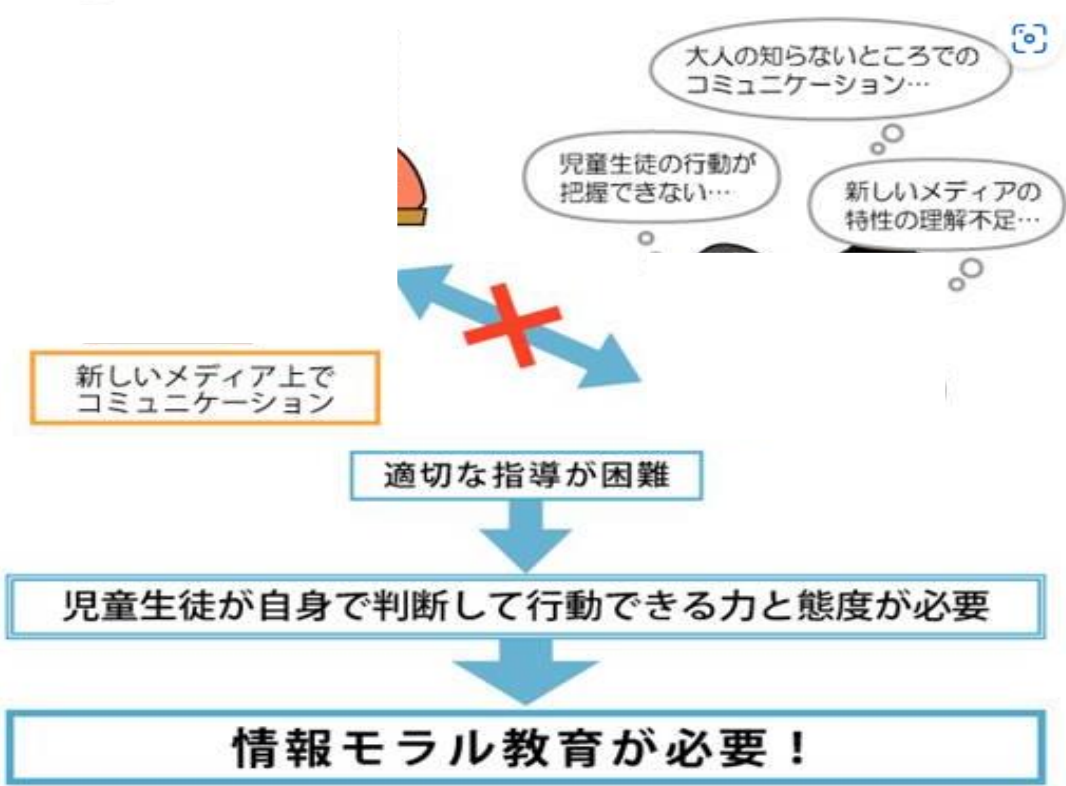


情報モラルの重要性

文部科学省によると、2023年夏の時点で全国の公立小学校の約96%が全学年または一部の学年でタブレット端末を利用していることがわかりました。そのような現状に伴い、ネット利用の低年齢化が進んでいます。

青少年のインターネット利用実態調査（内閣府発表、2023年）の結果によると、小学校低学年（6～9歳の児童）の9割以上がインターネットを利用していることがわかりました。日ごとの利用時間も増加傾向です。ネット利用の目的は主に動画の閲覧（約91%）、ゲーム利用（約76%）ということもわかりました。

問題行動・不登校調査（文部科学省実施、2022年）において、「パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる」と回答した児童・生徒は2万3920人に上り、過去最多を更新してしまったそうです。現在も、増加傾向であることが予想されています。便利な情報社会において、正しい判断や望ましい態度を育むために、情報モラル教育は必要不可欠となっています。



中東の情報モラル教育

本校では、情報に関して自分や友達の権利を尊重して責任ある行動を取る態度を育むために、情報モラル教育を行っています。

① 安全指導日に、情報モラルについて学級全体で話し合う。

→インターネットを利用する際に気を付けなければならないこと、SNS等を利用する際の注意点について、考えや意見を出し合い、学級で話し合います。また、タブレット端末の利用時間や内容についても触れ、どのように活用すべきか考える時間も設けています。

② 情報モラルに関する動画を視聴し、学級全体で考える。

→休み時間（雨天時）や給食の時間に、情報モラルに関する動画を視聴します。動画はアニメやドラマ調となっているため、情報社会に潜む危険を子供たちはより身近に感じながら考えを深めています。

子供たちの情報モラルを高めるためには、何かトラブルが起こった際に指導するのではなく、日頃から継続的に情報モラル教育を行っていくことが大切です。

じょうほう がくしゅう 情報モラル学習サイト

～スマホ・タブレットやネットを上手に活用できるかな？～

- 情報モラルとは、みなさんが情報社会の中で上手に生きていくために必要な考え方や態度のことです。
- このサイトでは、写真やイラスト、動画を見ながら約3つの問題に挑戦することで、情報モラルについて学ぶことができます。
- 活用場面ごとに、いろいろな問題に挑戦することができます。それぞれ約5分～10分で学習できます。
- 小学校1年生～高校3年生が対象です。推奨学年にこだわらず、学びたいものを自由に学んでみましょう。

<https://www.mext.go.jp/moral/index.html#/>

上記のサイトは、AIドリルのようにクイズ形式でわかりやすく楽しく情報モラルを学ぶことができます。ぜひ、お子さんと一緒に取り組んでみてください。

